

2015年7月21日

## 田淵電機、カナダでのスマートコミュニティ実証事業に参画 ～太陽光パネル・蓄電池併用のインバータシステム～

田淵電機株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：貝方士利浩）はこのたび、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）がカナダ・オンタリオ州オシャワ市、オシャワ電力（以下、OPUC※）と協力することで合意した、同市でのスマートコミュニティ実証事業に参画しますので、お知らせいたします。

本事業では、2015～2016年度の2年間、同市内の30戸の家庭に太陽光パネルと蓄電池を1台で制御可能なハイブリッドインバータシステムを設置し、停電時の非常用電源として活用するとともに、系統安定化の検証を実施します。また、世界の地域への展開を狙ったビジネスモデルについても検証します。

同市では、凍害等により年間を通じて200回を超える停電が発生しており、安定的な電力供給が大きな課題となっています。オンタリオ州は、2009年に北米で初めてFIT（固定価格買い取り制度）を導入しており、さらに今後20TWh分の原子力エネルギーを再生可能エネルギーに置き換える計画があるなど、再生可能エネルギー導入に向けた取り組みに力を入れています。

このような背景のもと、NEDOは、カナダのオシャワ市、OPUCとスマートコミュニティ実証事業の協力を合意し、7月17日、基本協定書（MOU）を締結しました。NEDOは、オシャワ市、OPUCと協力し、太陽光パネルと蓄電池を備えたハイブリッドインバータシステムを個々の需要家に設置し、停電など非常時の需要家の自立性を高めるとともに、電力会社による系統への遠隔出力制御を行うことでより高度な系統安定化を実現するシステムの実証を行います。

当社は、NEDOの委託を受けて2015～2016年度の2年間、同市内の30戸の家庭に本インバータシステムを設置し、停電時における非常用電源としての有用性検証および系統安定化の検証を実施します。本システムは、1つの蓄電インバータで太陽電池と蓄電池の両方を制御可能で、逆潮流を防ぐ制御機能も備えた当社独自技術です。

本事業により、今後、深夜電力を蓄電池に充電し、日中に放電利用するエネルギーシフトが期待できます。また、個々に設置するシステムは需要家の所有物としてではなく、電力会社のネットワークの一部として電力会社が一括購入し、市場に参入していくビジネスモデルについても併せて検証を行い、世界の他の寒冷地や電力不安定地域への展開を目指します。

（※）OPUC：Oshawa Power and Utilities Corporation

<スマートコミュニティ実証事業の概念図>

